

2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

特種東海製紙株式会社
(東証PRM3708)

2025.8.8

連結業績

(単位:百万円)	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	前年同期比	
売上高	22,702	24,284	+1,582	+7.0%
営業利益	1,049	1,325	+276	+26.3%
経常利益	1,971	1,985	+14	+0.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,408	1,370	▲38	▲2.7%

売上高・営業利益

- 価格改定効果、及び前年同期比でリサイクル関連のグループ会社が1社増加したこと等により増収増益

経常利益

- 第1四半期の業績としては売上とともに19期中過去最高を更新

当期純利益

- 固定資産除却損の計上等により微減

通期業績予想に対する進捗率

第1四半期 実績	進捗率	2025年5月発表 通期業績予想
売上高 24,284百万円	24.5 %	99,000百万円
営業利益 1,325百万円	26.5 %	5,000百万円
経常利益 1,985百万円	28.4 %	7,000百万円

セグメント情報

(単位:百万円)		2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	前年同期比	
産業素材	売上高	10,787	11,320	+533	+5.0%
	営業利益	221	315	+94	+42.5%
特殊素材	売上高	5,254	5,413	+159	+3.0%
	営業利益	520	532	+12	+2.3%

産業素材

- 古紙等の原燃料価格が引き続き高止まりするものの、段ボール原紙・クラフト紙の販売数量は前年同期比で増加
- 設備トラブルが発生した前年同期に対し、当期は売電量が順調に推移

特殊素材

- 24年10月に実施した価格改定の効果が前第4四半期に続いて順調に浸透
- 機能紙全般としては国内外の需要が低調であったものの、高価格帯の国内向けの一部機能紙で需要が増加したことで売上高自体は前年同期比増

セグメント情報

(単位:百万円)		2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	前年同期比	
生活商品	売上高	4,520	4,706	+186	+4.1%
	営業利益	150	188	+38	+25.3%
環境関連	売上高	3,788	4,428	+640	+16.9%
	営業利益	109	259	+150	+137.6%

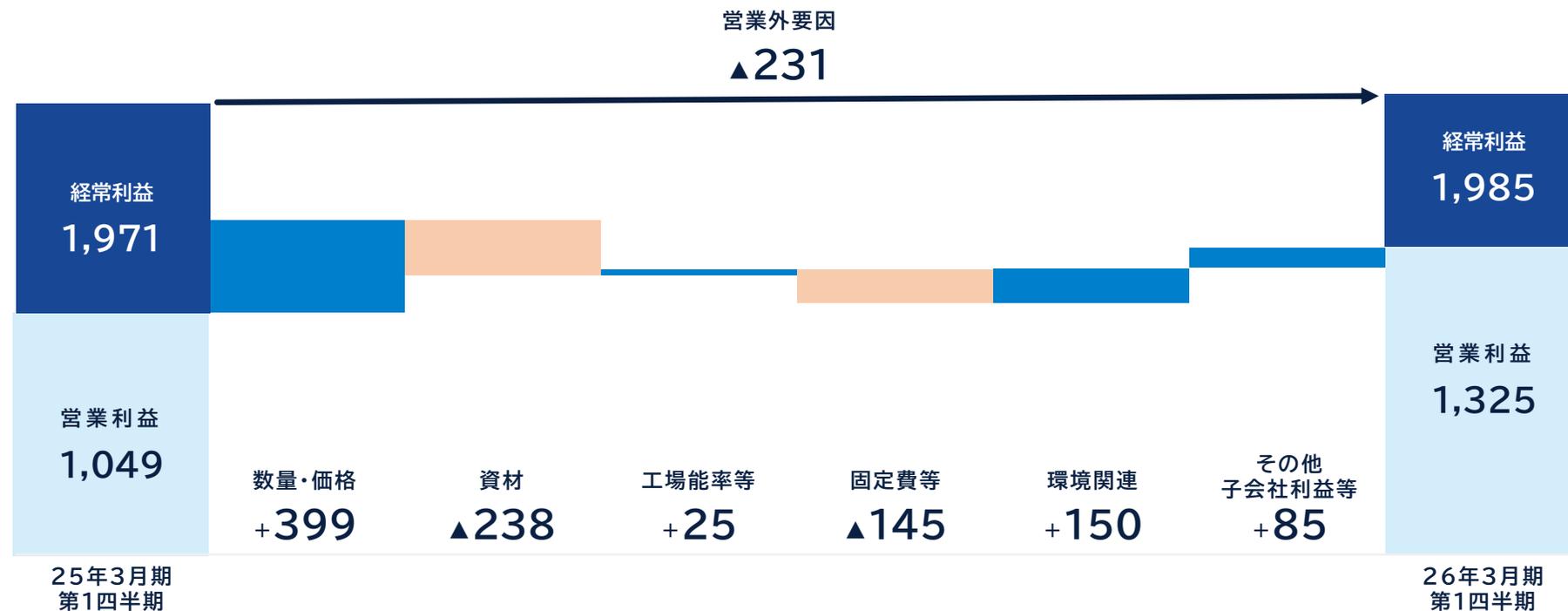
生活商品

- 前第4四半期に実施した価格改定の効果が発現したこと等でトイレトペーパーは増収増益
- ペーパータオルについてはサステナブル製品＝段ボール古紙配合製品の需要が堅調

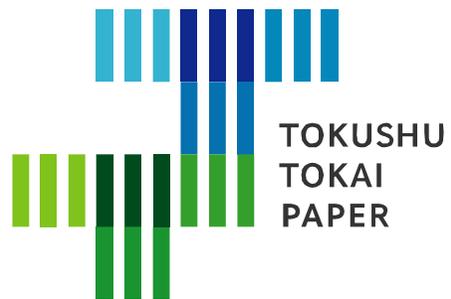
環境関連

- 前年同期時点では昨年グループ会社化したりサイクル関連企業のPLを取り込んでいなかったため、前年同期比では3か月分の売上・利益が上乘せされている

利益の増減要因(前年同期比)



- 24年10月の特殊紙、25年2月のトイレトーパーの価格改定効果などにより数量・価格要因で+399
- パルプや原紙、古紙などの原料を中心に価格の高止まりが続いたことで資材要因で▲238
- 環境関連については、リサイクルに加えてウイスキーの販売も少量ながら順調に推移したことで+150



※ 本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。
様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。